

評価委員による総評

- ・「教育に関する事務の点検及び評価」の結果については「おおむね適正」

理由及び今後についての意見

- 今回、点検及び評価された主要な施策や事務事業については、トイレ等施設改修による環境改善事業のように、点検評価を適切に繰り返した結果、滞りなく計画どおりに事業が完了を迎えるなど、多くが「目標通り」以上の評価となっている。また、一部「目標を下回る」施策等についても、コロナ禍において、日程の再延期や施設閉館を余儀なくされたり、事業の中止や縮小をせざるを得なかったりしており、不可抗力の部分が大きいと考えられる。よって、当評価委員会による総評を「おおむね適正」とした。
- 「当初目標を下回る」とした施策等においても、コロナ感染状況の落ち着いた時期に、企画内容を工夫した事業を実施することで、例年を超える集客につながったり、オンライン環境を活用し遠方で通常招聘しにくい講師による講座を開催し集客につなげた取組がみられる。また、説明会等が再延期となった期間においても、市ホームページ上での動画配信や市民からいただいた意見についてはQA形式で掲載するというように、コロナ禍に新たな事業実施手法に取り組まれていることは大いに評価できる。
- 評価基準について、昨年度から「総括評価欄」を設けたことで、項目全体の評価がより市民に分かりやすい形で示されている。
- 評価項目について、昨年度からの継続項目として抽出されている17項目のほか、生涯学習分野で学習機会の拡充（学び舎プログラムの実施）といった新たな主要な施策・事業が追加されるなど、適切に抽出されている。
- その他、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関し、学校現場や施設などで実施された感染対策内容や教育委員会として実施された内容について、項目ごとにまとめて表記され、市民に分かりやすい形で示されている。
- 一方、成果指標について、成果目標に沿ったより市民にわかりやすい指標を選定する余地は残されている。
- 本点検・評価の結果を活かし、具体的な取組として改善を重ね、より効果的に教育行政が推進されることを期待する。